

学校との連携

教育委員会事務局

学校教育部

特別支援教育課

本日の内容

1. 学校職員の窓口・役割
2. 障害のある子供たちの学びの場
3. 障害のある子供たちの学びの場の決定
4. 個別の教育支援計画と個別の指導計画
5. 放課後の引き渡し
6. 保育所等訪問支援
7. 連携の事例

1. 学校職員の窓口・役割

(1) 教頭

- ・ 外部との連絡窓口

(2) 特別支援教育コーディネーター

- ・ 関係機関との連携を主導

(3) 担任（通常の学級、特別支援学級）

- ・ 保護者からの連絡や相談の窓口

※事業所の方との連絡・相談窓口

⇒ 教頭 or 特別支援教育コーディネーター

2. 障害のある子供たちの学びの場

(1) 幼児の**通級指導教室**

拠点校（エリアごとに各園から通う）

- ・そだちとこころの教室（情緒障害・発達障害）6教室
- ・きこえとことばの教室（言語障害・難聴・発達障害）8教室

※すこやか保育の幼児は対象外

2. 障害のある子供たちの学びの場

(2) 小中学校

① 通常の学級

② 通級指導教室（拠点校、自校）

a 拠点校（エリアごとに各校から通う）

- ・ そだちとこころの教室（情緒障害・発達障害） 6 教室
- ・ きこえとことばの教室（言語障害・難聴・発達障害） 8 教室

b 自校（校内の教室に設置）

- ・ 現在、小学校に 5 校
- ・ 設置校数を毎年増やす計画

2. 障害のある子供たちの学びの場

(2) 小中学校

③特別支援学級（8人で1クラス）

- ・知的障害
- ・自閉症・情緒障害
- ・肢体不自由
- ・病弱・身体虚弱

※LD・ADHDは対象外…通常の学級に在籍し、通級指導教室に通う児童生徒もいる

☆原則として、医師の診断等障害があることの根拠が必要

2. 障害のある子供たちの学びの場

(2) 特別支援学校

①学部

- ・小学部・中学部・高等部 (一部、幼稚部あり)

②障害種別

- ・知的障害
- ・肢体不自由 (在宅訪問あり)
- ・視覚障害
- ・聴覚障害
- ・病弱 (病院内・在宅訪問)

2. 障害のある子供たちの学びの場

(3) 高等学校の通級による指導

※学びの場の詳細については、

「[神戸市 障害のある子供たちのための学校](#)」

で検索

3. 障害のある子供たちの**学びの場の決定**

(1) 決定までの通常の流れ

小学校に連絡



①学校見学



②就学相談



③学校→神戸市教育委員会で検討→学校



④就学先の決定

※就学支援ガイドについては、

「神戸市 就学支援ガイド」

で検索

3. 障害のある子供たちの**学びの場の決定**

(2) 保護者から相談されたら

- ・ 障害の状態や効果的な支援等が学校に伝わるようサポートを
 - 「Aさんには～**支援が効果的**です」
 - 「Aさんに適した**学びの場**について**学校と相談**してください」
 - × 「**特別支援学級**に入るべきです」 「**通常の学級**で**絶対大丈夫**ですよ」

4. 個別の教育支援計画と個別の指導計画

	個別の教育支援計画 (学びの支援ネットワークプラン)	個別の指導計画
主な内容	<ul style="list-style-type: none">・ 本人・保護者の願い・ 本人に必要な支援・ 支援を行っている関係機関等	<ul style="list-style-type: none">・ 実態の把握・ 各授業における具体的な指導の計画 (目標・手立て・評価)
作成	<ul style="list-style-type: none">・ 学校が保護者等と協力して作成	<ul style="list-style-type: none">・ 学校が作成

5. 放課後の引き渡し

- 送迎車両の駐車

 - …子供たちの安全確保が優先

- その日の様子などの情報交換

 - …子供の数など学校の状況によって

6. 保育所等訪問支援

(1) 学校等の意識と理解促進

- 子供たちの安全と個人情報を守る責務…外部の方に慎重
 - 教育委員会・福祉局が、学校の理解・協力を促進する必要あり
- ⇒学校向けの対応マニュアルを作成

(2) 事業所の方へのお願い

- 保護者のニーズと学校の考えを聞いて、三者で目的を共有
- 事前に学校等への連絡を保護者に依頼
- 画像や動画の撮影は×
- 誓約書（確認書）の依頼

7. 連携の事例

(1) 就学前

- ・ 児童発達支援事業所からの子供の特性や効果的な支援の情報
⇒ 入学後のスムーズなスタート

(2) 就学後

- ・ 指導や関わり方に特に配慮が必要な児童生徒についての情報共有
⇒ 互いに事情を理解し、今後の対応のヒントに
引き渡しの仕方や今後想定される事態発生時の対応について
共通理解

